

【日野原賞、学術大会長賞、地域ケアネットワーク賞について】

●日野原賞

授与者 : 本学会理事長

対象と目的 : 日本のプライマリ・ケア領域のパイオニアである、日野原重明先生の行政気を顕彰するために設けられた賞。これからのプライマリ・ケア領域の研究の発展を担う、次世代の若手研究者（40歳未満）を奨励することを目的として、最も質の高い臨床研究を実施し、発表したものを表彰する。臨床研究の質がもっとも優れている演題に授与する。

選考 : 選考は、研究支援委員会により、原則として一般演題より複数の候補を挙げ、その中から理事会で決定する。ただし、学術大会以外における発表で、特に優れたものは、この候補の中に入れることを可能とする。

●学術大会長賞

授与者 : 学術大会長

対象と目的 : 多忙で研究資源の乏しい臨床現場であっても、地道に研究を実施端員するという、プライマリ・ケア研究の原点を忘れることのないよう、臨床現場において優れた研究を実施した実地医家の業績を顕彰するために設けられた賞。学術大会における一般演題の中から、大学などのアカデミックな組織に所属せず、臨床現場で実施された臨床研究の中で、もっとも優れたものを表彰する。

選考 : 学術大会実行委員会が組織した学術大会長賞選考委員会において検討し、学術大会長が決定する。

●地域ケアネットワーク賞

授与者 : 地域包括ケア委員長

対象と目的 : 地域の保健，医療，福祉，介護を充実させ、地域住民が安心して暮らせる地域社会を築くためには、多職種多機関の連携・協働のためのネットワークづくりが重要である。また、地域住民や患者との連携も求められている。全国各地で、素晴らしいネットワークが構築され、その活動には地域の状況，地域特性などが大きく関わっていると思われるが、そのネットワーク構築のための手法については学ぶべき点が多いと考えられる。学術大会における、シンポジウムや演題のすべての発表の中から、地域ケアのネットワーク作りに特に優れた活動に対して本賞を授与する。大賞と特別賞。

選考 : 地域包括ケア委員会において協議、決定する。